

## できごとの名前だけで結果がわかる！

作：伊藤育雄

【問題1】1669年(江戸時代)、「シャクシャインの乱」という事件が蝦夷地(北海道)でおこりました。これは、どんな事件だったのでしょうか？

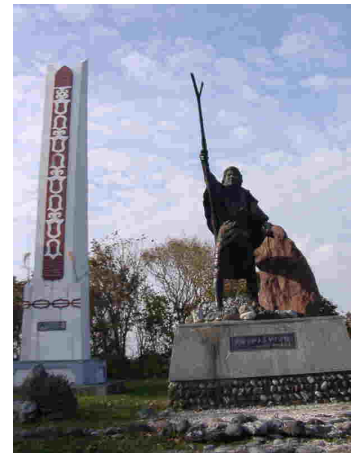
- (ア) シャクシャインという人が中心となって、松前藩の武士と戦い、勝った事件。
- (イ) シャクシャインという人が中心となって、松前藩の武士と戦い、負けた事件。
- (ウ) シャクシャインという場所で、松前藩の武士と幕府の武士とが戦った事件。
- (エ) シャクシャインという場所で、松前藩の武士どうしが戦った事件。



※当時は、北海道のことを「蝦夷地」とよんでいました。

【答え】(イ) です。当時、松前藩はアイヌ民族との商売をひとりじめしていて、アイヌが自由に商売をするのを禁止していました。1665年、松前藩は藩の収入を増やそうと、商売の交換割合を3倍に引き上げました。そのため、アイヌは100ぴきのサケで米が30kg分と交換できたのが、米が10kgしか手に入らなくなりました。また、松前藩が砂金を採るために、アイヌの人たちの川が荒らされるようになってきました。

そこで、1669年、シャクシャイが松前藩をたおそうとよびかけました。2000人のアイヌの人々が集まり、立ち上がりました。2か月の戦いの後、松前藩は話し合いを申し入れました。その席で、シャクシャインは殺されてしまいました。これが「シャクシャインの乱」です。



シャクシャインの像

【問題2】1837年(江戸時代)、大阪で「大塩平八郎の乱」が occurred。これは、どんな事件だったのでしょうか。

- (ア) 大塩平八郎が中心となって、幕府軍と戦い、勝った事件。
- (イ) 大塩平八郎が中心となって、幕府軍と戦い、負けた事件。
- (ウ) 大塩平八郎が中心となって、新撰組と戦い、勝った事件。
- (エ) 大塩平八郎が中心となって、新撰組と戦い、負けた事件。



【答え】(イ) です。1833年春から夏にかけ、東北・関東地方が冷害にみまわれました。  
 (「天保のききん」の始まり) このため米が不作となり、米の値段はとんでもないくらいに高くなり、各地で多くの餓死者がししやが出ました。

1836年、また冷害にみまわれ米が不作となり、ふたたび米の値段が高くなりました。米が買えなくて、大阪でも多くの餓死者が出ました。そんななか、町奉行所の与力(今の警察署長)だった大塩平八郎は自分が書いた本を売って、そのお金を貧しい人に配っていました。しかし、米屋は自分のもうけのために米の買いしめを始め、幕府は大阪の米を江戸に送るようと命令してきました。大塩平八郎は、大阪の人々に米を配ってほしいと町奉行所にたのみますが、聞き入れられませんでした。そこで、農民や町人らを300人ほど集め、米屋をおそう行動に出ましたが、幕府軍2000人の兵に1日でしずめられました。平八郎は逃げましたが、40日後に発見され、その場で自殺しました。

【問題3】何かきまりのようなものを発見しましたか。935年(平安時代)、「平将門の乱」がおこりました。平将門はどうなったのでしょうか。

平将門は



平 将門

【答え】平将門は殺されました。平将門は農民と結びつき、関東地方をおさめ、自分のことを「新皇」と名のりました。関東地方をおさめたい朝廷は「将門を殺せ、てがらを立てた武士は貴族にする」という命令を出しました。それをうけた平貞盛(将門のいとこ)や藤原秀郷によって、農作業で人が少なくなったところをおそわれ、将門は殺されました。将門の首は都に運ばれ、さらし首にされました。

ここからは平将門伝説です。平将門の首はいつまでたっても腐ることなく、両眼はにらむように開いていました。そんなある日、平将門の首が「俺の首はどこだ。」と叫び関東へ向けて飛び立ちました。しかし、ついには力尽きて落ちてしまいます。その場所が今の東京都の大手町だといわれています。

東京都千代田区の手町には、将門の首塚を作って供養したものが「平将門の首塚」として今も存在しています。



【法則1】「○○の乱」では、○○が人名なら○○が負けて殺された。

【おまけ】同じ時代の「<sup>ふじわらのすみとも</sup>藤原純友の乱」では、瀬戸内海<sup>ふじわらのすみとも</sup>の海賊といわれた藤原純友はどうなったのでしょうか。

<sup>ふじわらのすみとも</sup>  
藤原純友は

【問題4】1221年(鎌倉時代)、「承久の乱」がおこりました。どんな事件だったのでしょうか。

- (ア) 承久が幕府軍と戦い、負けた事件。
- (イ) 承久という場所で、幕府軍どうしが戦った事件。
- (ウ) 承久3年に、後鳥羽上皇らが幕府軍と戦って、勝った事件。
- (エ) 承久3年に、後鳥羽上皇らが幕府軍と戦って、負けた事件。

平安時代	935	平将門の乱…関東地方
	939	藤原純友の乱…瀬戸内海
	1001	「枕草子」…清少納言
	1010	「源氏物語」…紫式部
	1016	藤原道長が摂政になる
	1017	藤原頼通が摂政になる
	1053	平等院鳳凰堂…藤原頼通
	1086	白河上皇が院政を始める
	1156	① の乱
	1159	② の乱
	1167	平清盛が太政大臣になる…日宋貿易
	1185	壇ノ浦で平氏滅亡
	1192	源頼朝が鎌倉幕府を開く
	1221	<u>承久の乱</u>
	1232	御成敗式目…3代執権北条泰時
	鎌倉時代	1274
1281		弘安の役
1297		徳政令
1333		鎌倉幕府が滅ぶ

【答え】(エ) です。鎌倉幕府の2代・3代将軍(源頼家・源実朝)は殺され、二人の母の実家・北条氏が幕府の中心になりました。このとき、後鳥羽上皇らは幕府をたおそうと、兵をあげました。しかし、後鳥羽上皇は幕府軍に負け、隠岐という島に流されました。上皇とは、天皇の後になる位です。承久とは年号(日本の年の数え方：今は「令和」)です。このときの北条政子の「(頼朝の)ご恩を忘れて京方(上皇)につくのか、将軍に奉公するのか、今はっきり言い切ってみよ。」という演説は、有名です。







【答え】(イ) です。天武1年(672)壬申の年6月に、おこりました。戦いに負けた大友皇子は自殺しました。次の年、大海人皇子は天武天皇となりました。このころから、「大王」とよばれていたのが、「天皇」とよぶようになったようです。

また、大海人皇子は小さい頃の記録がないので、天智天皇の「弟」ではないという説があります。別人の渡来人(朝鮮からわたってきた人)ではないかといわれています。(663年、朝鮮でおきた「白村江の戦い」<sup>はくすきのえ</sup>で、唐・新羅に負けた百済の人たちを天智天皇は助けにいきました。一方、天武天皇は何度も新羅に使いを送りました。つまり、天智天皇は百済、天武天皇は新羅からの渡来人ではないかと考えられます。)



**【法則2】 天皇家が関係した乱は、「○○の乱」の○○は「そのときの年号」をつける。**

【おまけ①】 1156年(保元1年・平安時代)、後白河天皇・藤原忠通の天皇方と、崇徳上皇・藤原頼長(忠通の弟)の上皇方との対立がおこり、それぞれに源氏・平氏の武士を集め、京都で戦いました。この戦いは、天皇方(武士：平清盛と源義朝)が勝ちました。この事件に何という名前がつけられたのでしょうか。

の乱

【おまけ②】 「おまけ①の乱」がおおると、力をつけてきた平清盛と源義朝とが対立し、1159年(平治1年・平安時代)に京都で戦いがおこりました。また、この対立は藤原氏や後白河上皇・二条天皇をまきこんだ戦いになりました。この戦いは、平清盛方が勝ちました。源義朝は殺され、子供の頼朝は伊豆へ流されました。この事件に何という名前がつけられたのでしょうか。

の乱





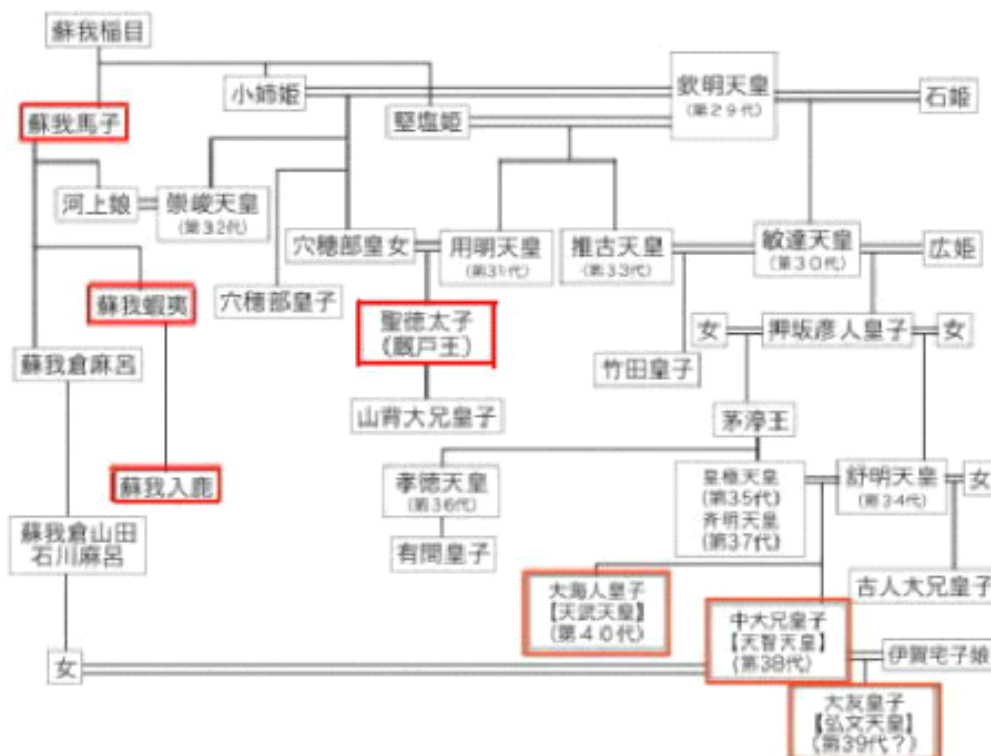
【答え】「大化の改新」と名づけられました。「大化」はそのときの年号で、「改新」はそれまでのことを直し新しいことをするという意味です。この後、中大兄皇子は天皇となり、中臣鎌足は「藤原」と名をかえ、二人とも政治の権力をにぎります。「大化の改新」とは、権力者を殺して自らが権力をにぎるクーデターから始まりました。

これまで権力を握っていた蘇我氏が天皇だったという説があり、蘇我氏の墓とされる石舞台古墳が荒らされているのは、その証拠を消そうとしたからではないかといわれています。このとき、歴史書も処分されました。



石舞台古墳

【おまけ】あの「聖徳太子」は蘇我氏と同時代の人物です。最近、「厩戸皇子」は実在したが「聖徳太子」は実在していなかったという説が出てきました。<sup>うまやどのおうじ</sup>



# 厩戸皇子はいた。 でも、聖徳太子は いなかった!

聖徳太子の本名は、厩戸皇子（王子）。「聖徳太子」とはのちの世の人が呼んだ呼び方です。49歳で死ぬまでにはりっぱな仕事をしたと伝えられていますが、その中には、ホントの話、ホントとはいえない話、ウソの話がまじっているのです。



この絵の服装は厩戸皇子の死後100年くらいたったころのもの。「しゃく」を持つ首領も厩戸皇子の時代にはまだなかった

『しらかほん』2号 2007.4. 朝日新聞社

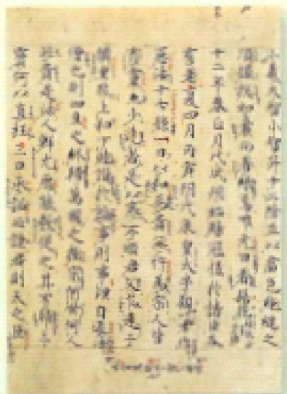
監修者  
伊藤育雄  
(愛知県尾張旭市立東中教諭/本誌編集顧問)  
内田正信  
(富士見中学・高校元教諭/愛知県教育研究/本誌編集顧問)



## ホントとはいえない話

### 1 初めての憲法をつくった(604年?)

「和をもって貴しとなし（みんななかよくすることがいちばん大事）…」と始まる十七条憲法は、今の憲法とは違って役人の心がまえを説いたもの。「日本書紀」には「聖徳太子が定めた」と書かれています。もっとあとの時代につくられたものという説が有力です。



『日本書紀』巻22 十七家憲法の部分

### 2 法隆寺を建てた

厩戸皇子が建てた斑鳩寺は670年に火事で焼け、その後同じ場所に建てられたのが法隆寺です。法隆寺にある夢殿も、厩戸皇子をしのんで、のちに建てられたものです。



世界最古の木造建築物である法隆寺(奈良県)

法隆寺は、世界遺産に指定されているのよ。



※604年、当時の天皇家の持つ権力よりも蘇我氏の権力の方が強く、条文にある「天皇中心の国家」であったとはいえないこと、条文にある「国司」名が当時使われていなかったことから、もっと後の時代につくられたのではといわれています。





## 明らかなウソの話

馬で空を飛んだり、一度に10人の話を聞いたというのは、ウソなんですか？



生まれてすぐことばを話したとか、2歳でお経を唱えたって話は？



どれも、わたしにできるはずないでしょ！

あとの時代の人が考えたつくり話ですよ。

奈良県の福寿寺では、聖徳太子の像が本尊にまつられている。このような寺が全国各地にある

## ? つくり話が多いのは、なぜ？

「聖徳太子」が出てくるいちばん古い書物は、藤原皇子が死んでから100年くらいたったころに書かれた「日本書紀」です。「日本書紀」は日本最古の歴史書で、朝廷に伝わった神話や伝説、記録などが書かれています。

有力な蘇我氏の勢力が衰えてきたから、藤原皇子の時代にはいろいろな改革ができた

このあと、蘇我氏の力はもともと大きくなったので、天皇朝は蘇我氏を滅ぼしてしまった



「日本書紀」に「天皇が国の中心である」と書くときに、蘇我氏の影響力を消したかった

蘇我氏の代わりに藤原皇子をヒーローにして、「聖徳太子」という人をつくりあげた

さらに、「日本で仏教を始めた人」として「聖徳太子」にはおとぎ話のような話が加わった

このあとの時代に、いっしょに行ってみましょうよ。

じゃかぼん ● 2-9

【問題 7】 1333年、鎌倉幕府に不満を持つ武士(足利尊氏・新田義貞など)の力をかり、後醍醐天皇は鎌倉幕府をたおしました。1334年(建武1年)、後醍醐天皇はふたたび天皇中心の政治を行いました。あなたが後醍醐天皇だったら、この政治に何という名前をつけますか。

建武の

後醍醐天皇



【答え】「建武の新政」です。しかし、「新政」は天皇や貴族中心の政治にもどそうとし、新しく宮殿をつくる計画が進められました。そのため、協力したのにむくわれない武士や税の負担が重くなった農民は、「新政」に不満をもちました。足利尊氏は「新政」に不満を持つ武士たちを集め、兵をあげました。後醍醐天皇は吉野(奈良県の南)にのがれ、「建武の新政」はわずか2年あまりで終わりました。

【法則3】 天皇側が勝って政治をはじめると、そのときの年号と「改新」・「新政」と「新しい」という文字がつく。

【おまけ】 江戸幕府がたおされ、天皇中心の明治政府ができたとき、何という名前がつけられたのでしょうか。

【問題8】 1467年(応仁1年・室町時代)、8代将軍・足利義政のあとつぎをめぐる争いがおこりました。弟の義視よしみには守護大名の細川勝元と24か国(東軍)、子の義尚よしなおには守護大名の山名持豊やまなもちとよと20か国(西軍)がつき、京都で戦いが始まりました。これを「応仁の乱」といいます。さて、結果はどうだったのでしょうか。

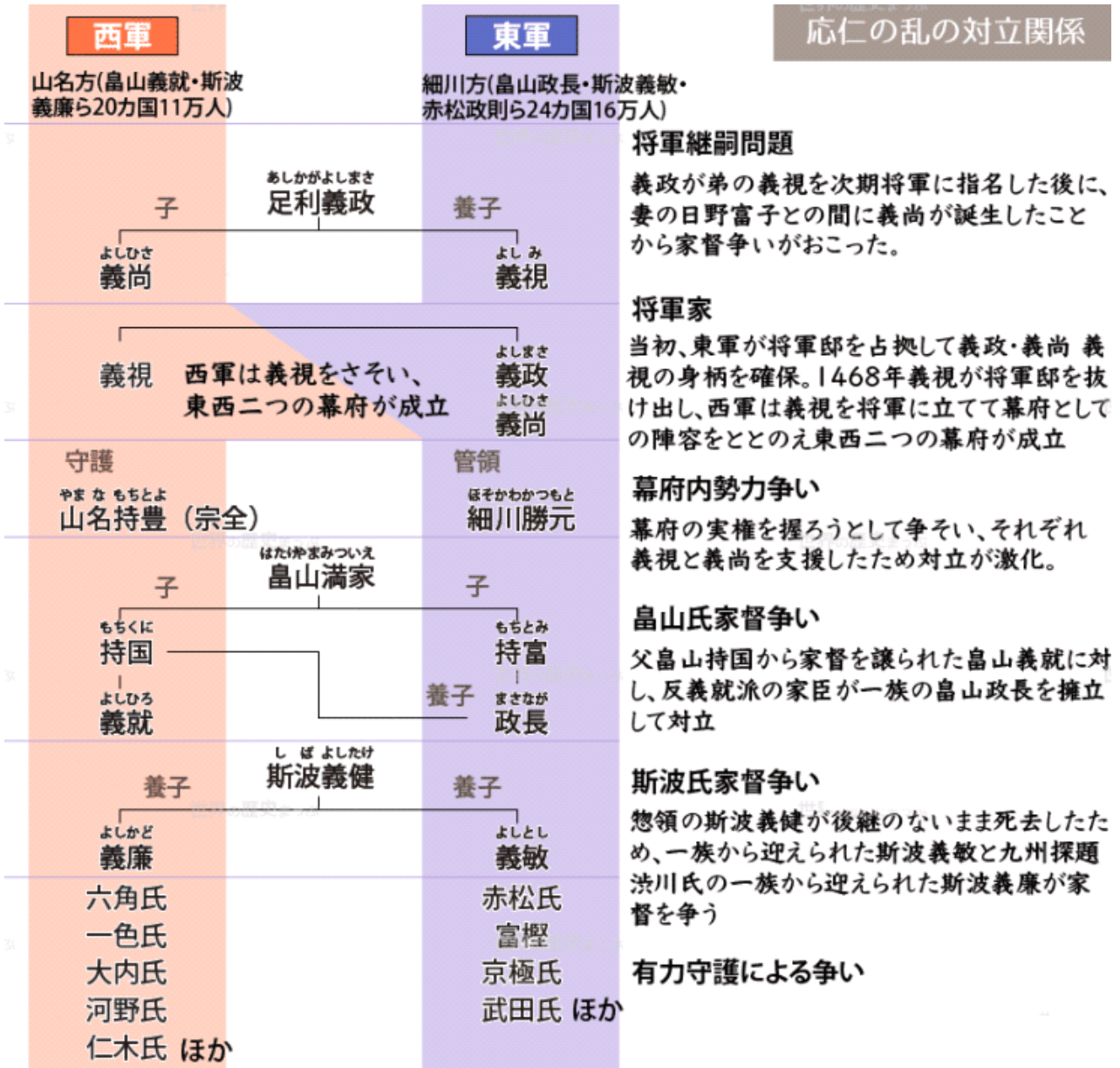
- (ア) 東軍が勝った。
- (イ) 西軍が勝った。
- (ウ) 引き分けだった。



応仁の乱がおきた場所

【答え】(ウ) です。戦いは11年間も続きました。細川勝元・山名持豊がそれぞれ病気で死んだ後、京都では戦いがおさまったものの、戦いは地方まで広がりました。この乱により京都は荒れ、室町幕府の力はおとろえ、ここから約100年間におよぶ戦国時代へとうつっていきました。

【例外】引き分けの場合も、年号を使う。





【問題9】「〇〇の乱」についての法則を知りました。そういえば、「〇〇の変」という事件もありましたね。どんな「〇〇の変」を知っていますか。また、それはどんな内容の事件でしたか。

〇〇の変

内容

・上の事件の例から、「〇〇の変」の法則がわかりましたか。

法則

【答え】・本能寺の変…1582年、明智光秀が京都本能寺で主君の織田信長を襲って自殺させた事件。

・桜田門外の変…1860年、江戸城の桜田門の外で、水戸藩の武士たちが彦根藩の行列を襲撃して、大老・井伊直弼を暗殺した事件。

・<sup>きんもん</sup>禁門の変…1864年に、京都に出兵した長州藩の武士(天皇側)と薩摩・会津藩(幕府側)の武士が、御所の<sup>はまぐりごもん</sup>蛤御門の近くで戦った事件。(禁門は御所の門の意味)長州藩が敗れ、長州藩の<sup>くさかげんずい</sup>久坂玄瑞・<sup>きじまたべえ</sup>来島又兵衛らが殺された事件。

**【法則4】「〇〇の変」とは、〇〇という場所で、その時代の重要な人物が殺された事件なのである。**

【まとめ】歴史の出来事の名前はだれがつけるのでしょうか。今までの問題からわかるように、勝ち残った人たちがつけています。当然、自分たちにとって都合が悪くなるような名前をつけるはずがありません。そのため、出来事についている名前だけで、結果がわかってしまうのです。ただし、飛鳥時代から江戸時代までです。明治時代の中ごろからは「〇〇事件」という名前になり、事件名から結果はわかりません。

※秩父事件 (1884年)      ノルマントン号事件 (1886年)      シーメンス事件 (1914年)  
5・15事件 (1932年)      2・26事件 (1936年)      ロッキード事件 (1976年)